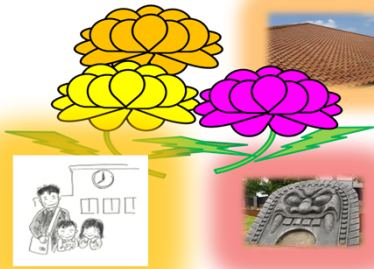


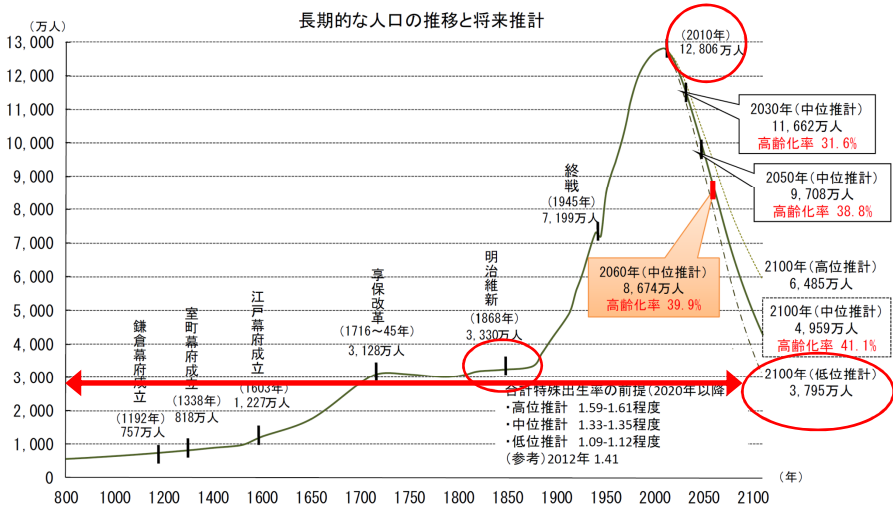
# 高浜市の 公共施設のあり方を考える 市民説明会



平成27年11月  
高浜市役所

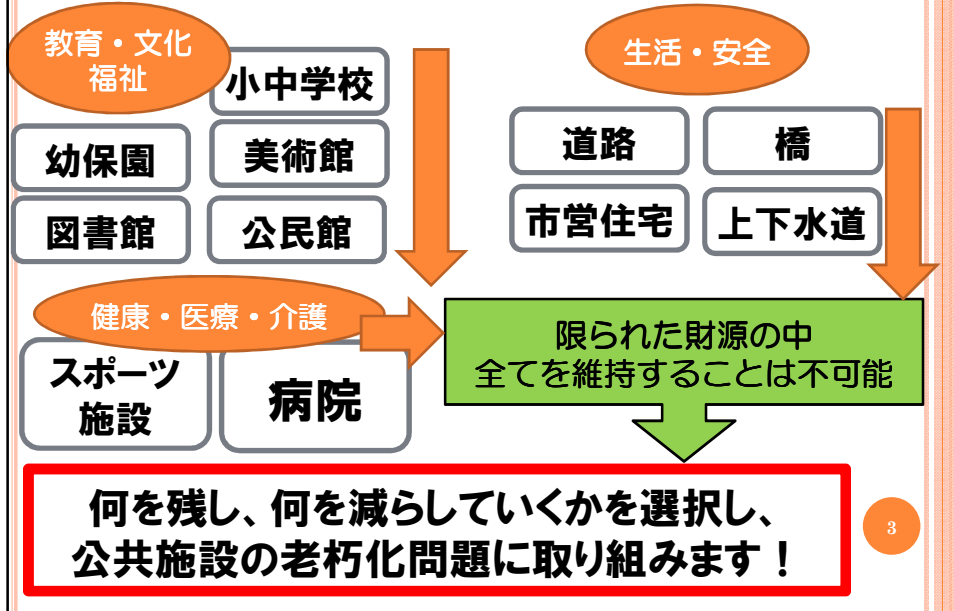
平成27年11月4日(水)  
高浜小学校区

## わが国の総人口の長期的推移 (100年前と100年後の日本の人口比較)



(備考)国土交通省「国土の長期展望」(2011年)をもとに作成。  
 2010年以前の人口:総務省「国勢調査」、国土庁「日本列島における人口分布の長期的系列分析」(1974年)  
 それ以降の人口:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

## 本日、皆さまにお伝えしたいこと



## 本日、お話しする内容

**第1部 公共施設の老朽化問題**  
(ハコモノ施設・インフラ施設)

**第2部 高浜小学校区の公共施設のあり方**

**第3部 新しい病院のあり方**

4

## 第 1 部

### 公共施設の老朽化問題 (ハコモノ施設・インフラ施設)



#### 公共施設の老朽化問題とは。

- 公共施設の多くは、都市化の進展や経済成長（高度経済成長期）とともに集中的に整備。  
⇒ 近い将来、一斉に更新する時期が到来
- 少子高齢化と人口減少の進行による財政状況の悪化。  
⇒ すべての公共施設を維持し続けることは困難

これが「**公共施設の老朽化問題**」

## 公共施設の老朽化問題に対する 国の対応

公共施設等を「新しく造る」から  
「賢く使うこと」を重点に



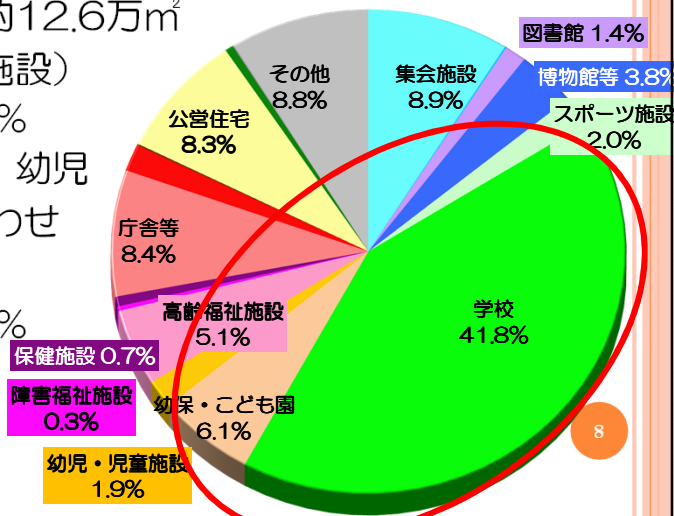
平成26年4月  
総務省⇒各自治体へ  
「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進」を要請

公共施設の今後のあり方は、高浜市を  
含めたすべての市町村の重点課題

7

## 高浜市の公共施設の割合

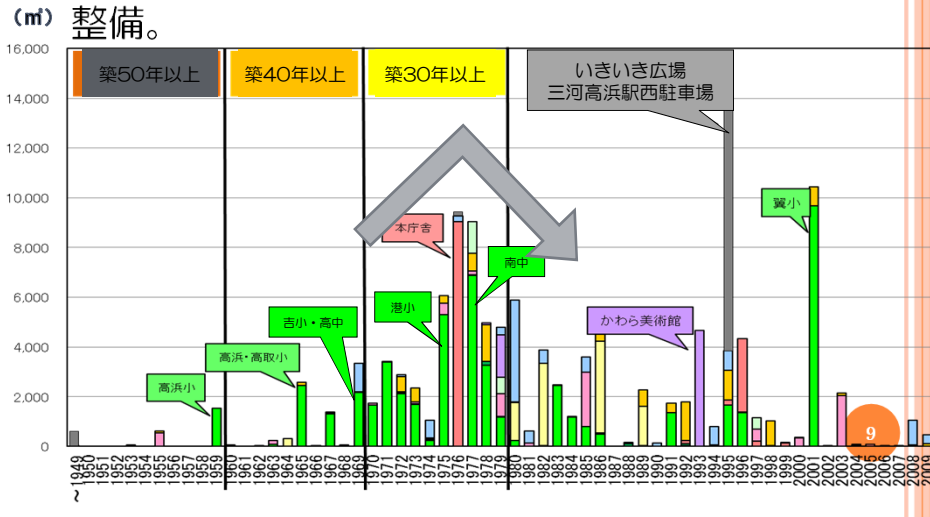
- 公共施設数：114施設
- 総延床面積：約12.6万㎡
- 小中学校（7施設）  
面積割合は約42%
- 学校、幼保園、幼児  
・児童施設を合わせ  
（30施設）  
面積割合は約50%



8

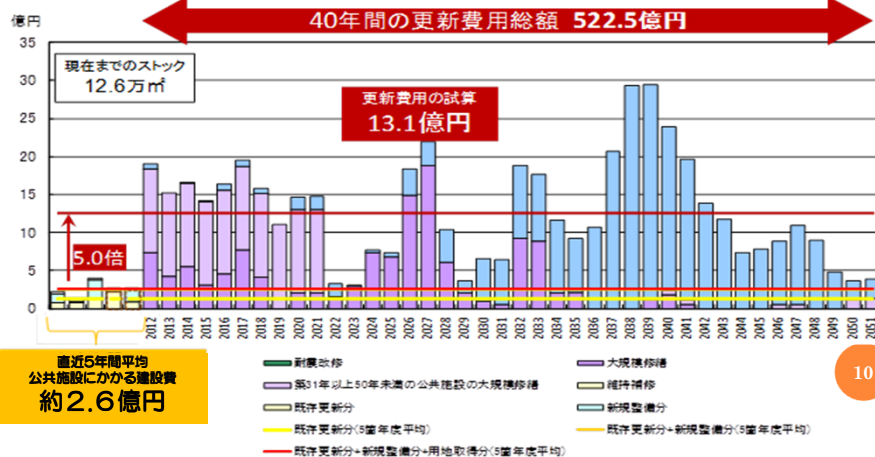
## 高浜市の公共施設の整備時期

- 社会環境の変化や市民ニーズの多様化に応じて、1970年代（昭和45年代）を中心に公共施設を整備。



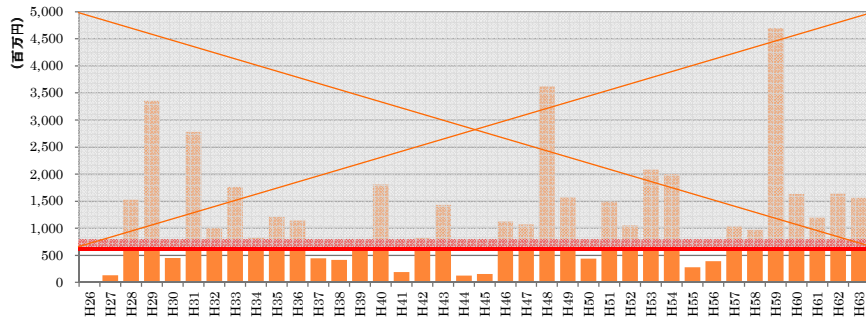
## 高浜市の公共施設の更新費用

- 114施設すべて更新すると＝40年間で522.5億円  
(年平均13.1億円)
- 近年の公共施設に係る建設費 ＝ 約2.6億円
- 必要とされる費用の5倍以上が今後必要



## 今までどおりの取組みをした場合

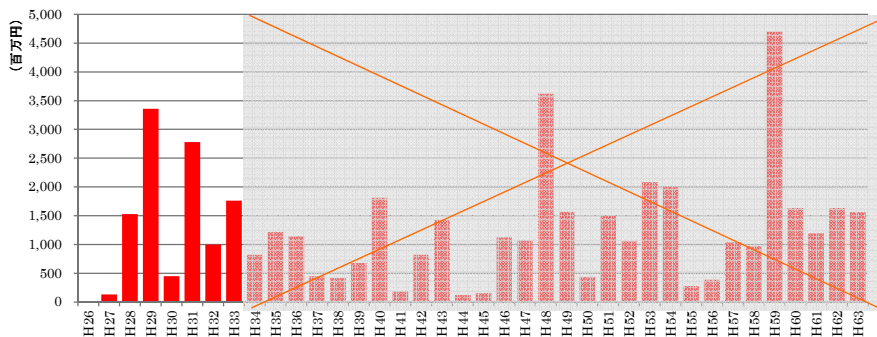
ケース① すべての施設をそのまま残し、今までどおりの応急的な修繕を行うと…



➡ いずれは老朽化が進行し、建物が崩壊。  
安心・安全なまちから遠のいていくことに

## 古い順に更新を続けた場合

ケース② すべての施設をそのまま残し、古い施設から順番に建替え続けると…



➡ 借金をして対応しても、全ての施設を更新する前に財政が破たん

## 高浜市のインフラ施設の状況

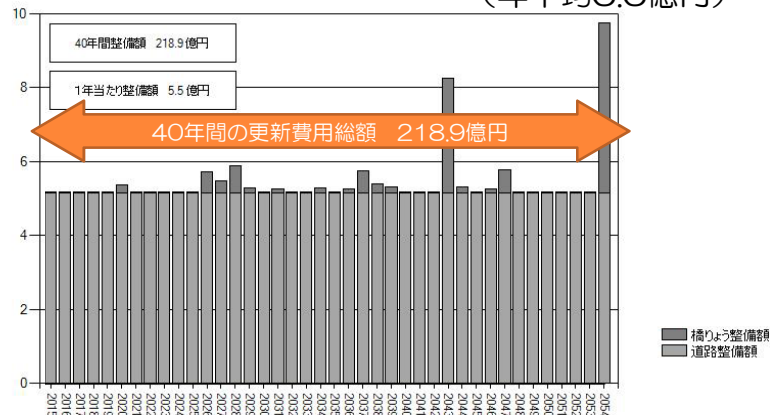
施設分類	内 訳
道 路	一般道路 227,629m (1,518,895㎡)
橋 梁	橋 梁 40橋 (内、刈谷1、碧南1)
上水道	配水管 222,331m
下水道 (汚水・雨水)	コンクリート管 22,943m
	陶管 113,128m
	塩ビ管 8,431m
	その他下水管 3,711m
	計 148,213m
河 川	準用河川 3,170m
公 園	街区公園 18箇所
	都市緑地 1箇所
	近隣公園 1箇所
	都市公園以外の公園 3箇所
農 道	農 道 9,475m
樋 門	樋 門 4箇所

13

## 高浜市のインフラ施設の更新費用

- インフラ施設（道路、橋りょう）を同種・同規模で更新した場合 = 40年間で218.9億円

(年平均5.5億円)



→ 市民のライフラインを支える必要不可欠な支出  
※現在、方針を策定中、費用は概算表示

## 高浜市も老朽化問題に直面

### 【まとめ】

- ・生産年齢人口の横ばい ⇒ 税収の増額が見込めない
- ・高齢者人口の増加 ⇒ 医療費・介護費など  
扶助費の増大
- ・年少人口の横ばい ⇒ 学校・幼稚園・保育園を  
今後も維持していく

### 施設更新の大きな波に備えた取り組みが必要



- ① 公共施設の更新費用を削減
- ② 行政サービスの見直し

15

## 公共施設のあり方検討経過

年度	内容
H23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高浜市公共施設マネジメント白書の作成</li> <li>・職員プロジェクトを組織</li> </ul>
H24	高浜市公共施設あり方検討委員会を設置
H26	4月～：公共施設あり方推進本部会議の設置（行政） <b>6月</b> ：高浜市公共施設あり方計画（案）の作成 7月～：公共施設あり方検討特別委員会の設置（議会） 8月～10月：あり方計画説明会（全5回）の開催
H27	10月：公共施設マネジメント基本条例の制定 ：公共施設マネジメント推進委員会の設置

（参考）  
白書作成  
自治体  
H23  
西尾市  
H24  
半田市  
豊川市

※ 高浜市は、全国のなかでも先がけて取り組んでいます



## 高浜市が目指す公共施設の姿

「高浜市公共施設マネジメント白書」から見えてきた課題を踏まえ.....

**「現行ある施設以外に  
新しい公共施設はつukらない」**

という考えのもと、

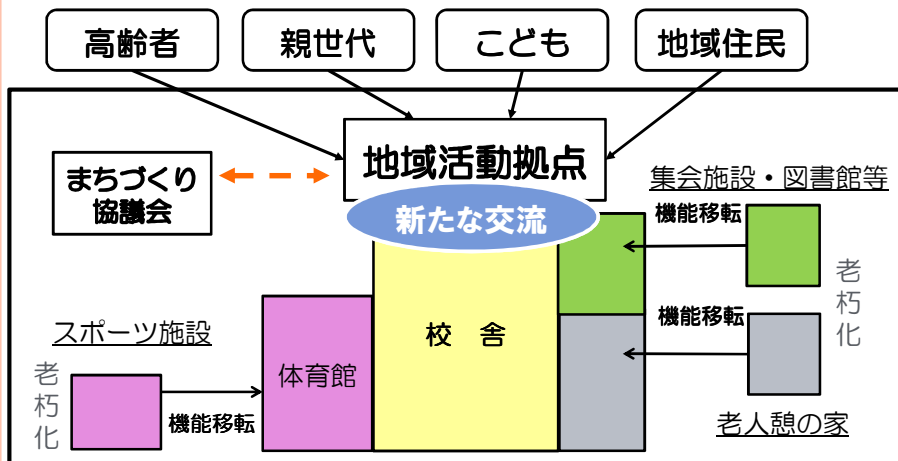
全体面積の中で約半分の割合を占めている



「学校」を地域コミュニティの拠点として位置づけ、他の施設との複合化を視野に入れた施設の改修・建替えを実施

17

## 目指す姿の基本イメージ(図説)まとめ



地域コミュニティの拠点となる複合施設として、  
学校を整備し、将来にわたり持続させる。

18

## 具体的な改善目標(ハコモノ施設)

### 目指すべき姿の実現に向けた改善案 (H26)

#### 改善項目① 耐用年数の 長寿命化

施設の計画的な修繕や大規模改修、適正な維持管理による施設の延命化

大規模改修35年  
建替え70年

#### 改善項目② 総量の圧縮

運営形態の見直しや、施設機能の複合化・集約化を図る。

延床面積  
37.7%の総量圧縮

#### 長期の 財政見直し

平成63年までの財政運営状況

長期財政見直し

19

## 40年間の長期の財政見直し

- 平成26年度での財政見直し(ハコモノ資産37.7%を圧縮)では、平成38年度までに貯金がなくなり、公共施設の整備が実施できなくなる。
- インフラ施設(道路・橋など)の維持管理費用を確保

平成27年度

**財政的な担保を確保するため  
次なる対策が必要**

- さらなる施設の総量圧縮、推進プランの前倒し
- インフラ施設の長寿命化方針の策定
- 抜本的な行政サービスの見直し

20

## 第 2 部

### ① 高浜小学校区の 公共施設のあり方



21

### 高浜小学校区の公共施設の概要

学区	施設名	老朽化	耐震化	利用者数
高浜学区	高浜小学校	×	○	-
	高浜幼稚園	○	○	-
	中央保育園 (児童センター・児童クラブ)	○	○	-
	大山公民館	○	○	40人/日
	高浜ふれあいプラザ	○	○	10人/日
	春日庵	○	○	2人/日
	ものづくり工房あかおにどん	×	×	2人/日
	IT工房くりっく	×	○	2人/日
	高浜北部老人憩の家	×	×	5人/日
	高浜中部老人憩の家	×	×	9人/日
	高浜老人ふれあいの家 (宅者所いっぶく)	×	×	15人/日
	いちごプラザ	×	○	71人/日
	高浜学区以外	中央公民館(ホール含む)	×	○
体育センター		×	×	76人/日
市立図書館		×	○	184人/日

22

## 高浜小学校区の公共施設のあり方

### 高浜市が目指す公共施設の姿

「学校」を地域コミュニティの拠点として位置づけ、他の施設との複合化を視野に入れた施設の改修・建替えを実施

#### モデル事業

#### ① 高浜小学校の建替えに併せ、他施設の機能を複合化

⇒ (複合化対象施設)

高浜幼稚園、児童センター・児童クラブ、いちごプラザ、大山公民館、ものづくり工房あかおにどん、IT工房くりっく、老人憩の家(北部、中部、ふれあいの家)、体育センター、市立図書館、中央公民館ホール

#### ② 中央保育園、高浜ふれあいプラザを改修・建替え

23

## 高浜小学校区の公共施設複合化スケジュール

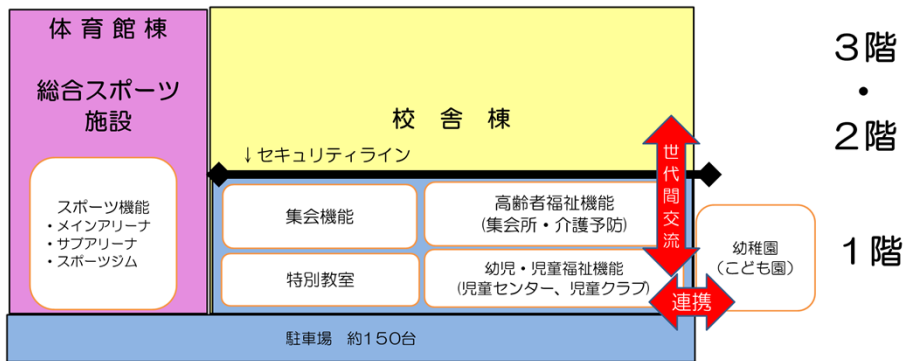
施設名	時期
高浜小学校	H29-H31 建替え
(小学校 複合化対象施設)	H27-H31 複合化検討 跡地検討
中央保育園	H39 大規模改修
高浜 ふれあいプラザ	H34 大規模改修
	H58 建替え

## 高浜小学校区の複合化による財政効果

施設名	単独の建設費 (A)	複合化施設の建設費 (B)	財政効果 (A-B)	単位 (千円)
高浜小学校	2,587,530	3,730,050	1,142,520	
高浜幼稚園	249,810	-	△249,810	
中央児童センター・児童クラブ	115,170	-	△115,170	
大山公民館	248,400	-	△248,400	
ものづくり工房あかおにどん	-	-	-	
IT工房くりっく	-	-	-	
高浜北部老人憩の家	27,360	-	△27,360	
高浜中部老人憩の家	28,080	-	△28,080	
高浜老人ふれあいの家 (宅老所いっぶく)	116,640	-	△116,640	
中央公民館ホール	334,400	-	△334,400	
いちごプラザ	101,310	-	△101,310	
体育センター	453,240	-	△453,240	
市立図書館	682,800	-	△682,800	
<b>合計</b>	<b>4,944,740</b>	<b>3,730,050</b>	<b>△1,214,690</b>	

25

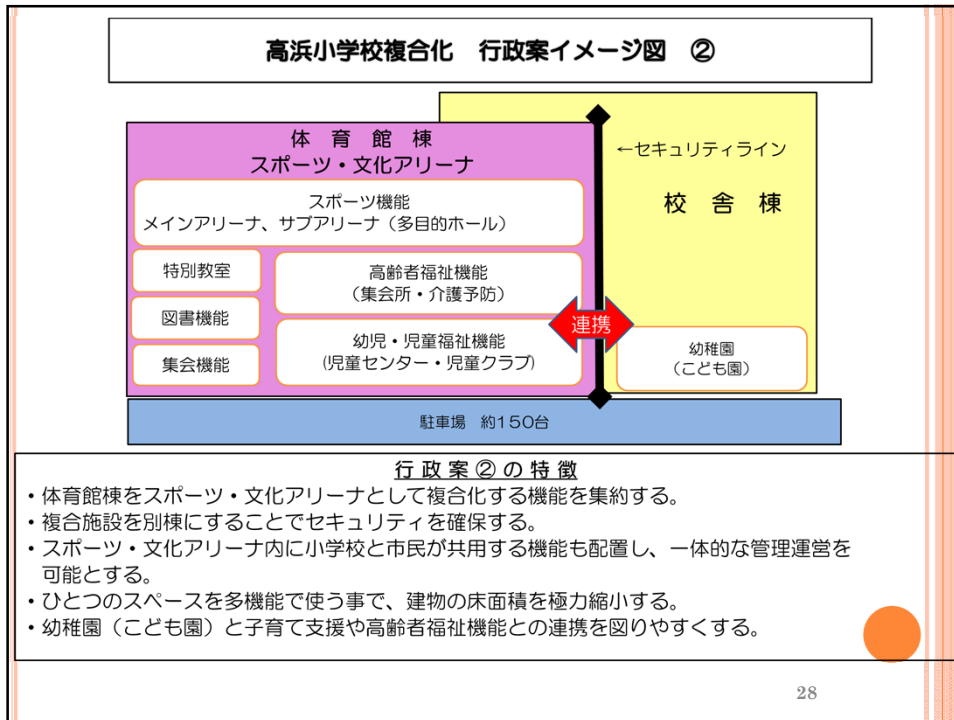
### 高浜小学校複合化 行政案イメージ図 ①



#### 行政案①の特徴

- 校舎棟は1階部分を高齢者・親子など世代間交流の場となる複合化エリア、2階3階を学校エリアとして立体的な区分を提案。
- 特別教室を1階に配置し、小学校と市民が共用する機能とし、一体的な管理運営を可能とする。
- 体育館棟にスポーツジムを複合化し、地域の総合スポーツ施設とする。
- 学校エリアと複合化エリアを一体的な建物とすることで、将来的な人口動態にも対応可能。

26



## 第 2 部

### ②高浜市の主要な 公共施設のあり方



### 市立図書館の現状と今後の方向性

- 市立図書館の現状
  - ・ 建築年度 昭和54年度 ・ 延床面積 1,707㎡
  - ・ 利用者数 67,464人(H26)
  - ・ 事業費 67,930千円(H26)
  - ・ 堤外地に立地し、液状化の危険性がある。
- 公共施設あり方計画 推進プランの見直し  
【計画期間：平成29年度～平成31年度】  
図書館機能 ⇒高浜小学校等に図書機能を移転させ、  
複合施設とします。

現在の方向性



従来の図書館ではなく、特色のある  
図書館のあり方を検討します。

30



## 体育センターの現状と今後の方向性

- 体育センターの現状

- ・ 建築年度 昭和52年度
- ・ 延床面積 1,259㎡
- ・ 利用者数 28,049人(H26)
- ・ 耐震対策未実施
- ・ 堤外地に立地し、液状化の危険性がある

- 公共施設あり方計画 推進プランの見直し

【計画期間：平成29年度～平成31年度】

スポーツ機能 ⇒機能の集約化・機能移転と複合化による  
スペースの効率的利活用。

現在の方向性



高浜小学校等に機能を移転させ、  
複合施設とします。

31

## 青少年ホーム(南テニスコート)の 現状と今後の方向性

- 青少年ホーム(南テニスコート)の現状

施設名	建築年度	延床面積	利用率
青少年ホーム	昭和49年	694㎡	8%
南テニスコート	昭和57年	- ㎡	39%

- 公共施設あり方計画 推進プランの見直し

【計画期間：平成28年度～平成30年度】

集会機能⇒スペースの有効活用による施設の複合化・集約化  
保有形態の見直しによる効率化

現在の方向性



施設を民間に移譲し、機能の集約化を行による  
スポーツ拠点の形成を目指します。

32



## 市営住宅の現状と今後の方向性

### ● 市営住宅の現状

施設名	建築年度	棟数	戸数	延床面積
葭池住宅	昭和39年	2	10	320㎡
芳川住宅	昭和55年	1	24	1,581㎡
湯山住宅	昭和57年	3	48	3,305㎡
東海住宅	昭和61年	3	48	3,693㎡
稗田住宅	平成元年	1	20	1,569㎡

### ● 公共施設あり方計画 推進プランの見直し

【計画期間：平成28年度～平成30年度】

市営住宅 ⇒ 計画的修繕を行いつつ、民間ストックの活用（新民間賃貸住宅・家賃助成の検討）に向けた検討を行います。

33

## かわら美術館の現状と今後の方向性

### ● かわら美術館の現状

- ・ 建築年度 平成5年度 ・ 延床面積 4,669㎡
- ・ 観覧者数（常設展・企画展・特別展） 52,121人(H26)
- ・ 事業費 160,000千円（H26）

### ● 公共施設あり方計画での位置づけ

計画前倒し！

【計画期間：平成38年度～平成41年度】

美術館機能 ⇒ 大規模改修による長寿命化  
保有形態の見直しによる効率化

現在の方向性

運営のあり方を見直し、  
美術館のあり方を今後5年間で検討します。

## 中央公民館の現状と今後の方向性

### ● 中央公民館の現状

- ・ 建築年度 昭和55年度 ・ 延床面積 4,091㎡
- ・ 利用者数73,354人(H25) ・ 利用率 15%(H25)
- ・ 事業費 31,448千円 (地区公民館 17%)

### ● 公共施設あり方計画での位置づけ

計画前倒し!

【計画期間：平成30年度～平成33年度】

「集会施設」→スペースの有効活用による施設の複合化

現在の方向性

・ 集約化

- ・ 公民館機能⇒他の集会施設へ機能の集約化
- ・ ホール機能⇒高浜小学校の更新時に機能の複合化
- ・ 商工会 ⇒移転検討

35

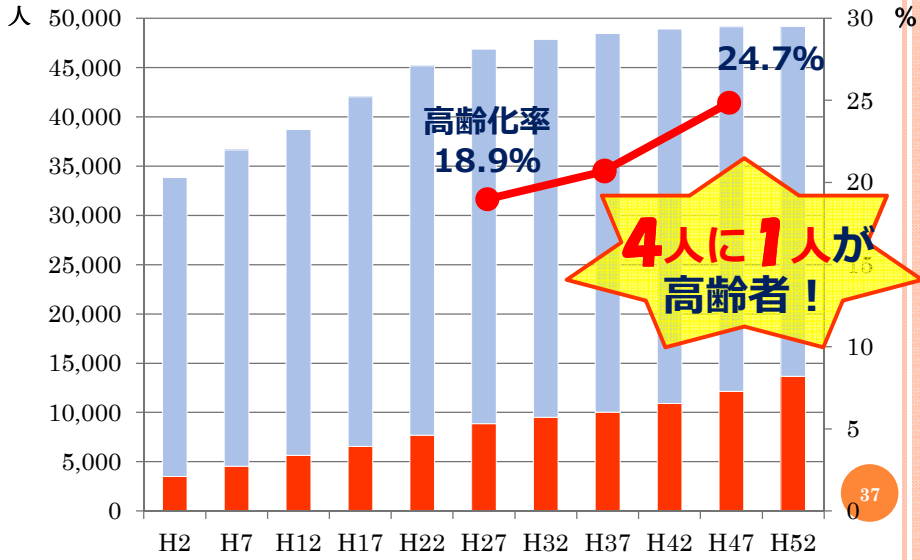
## 第 3 部

# 新しい 病院のあり方

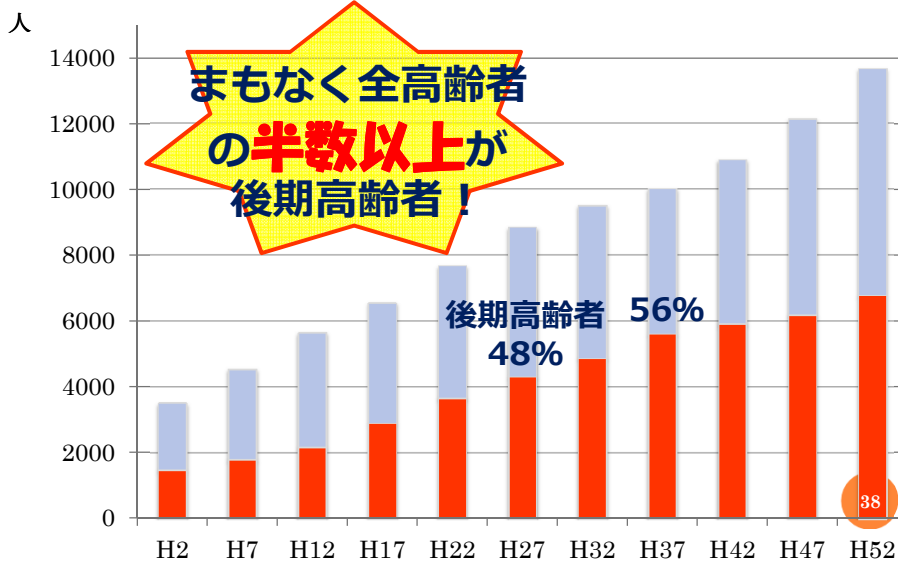
36

高浜市保健福祉グループ

## 人口の推移・推計(総人口/高齢化率)

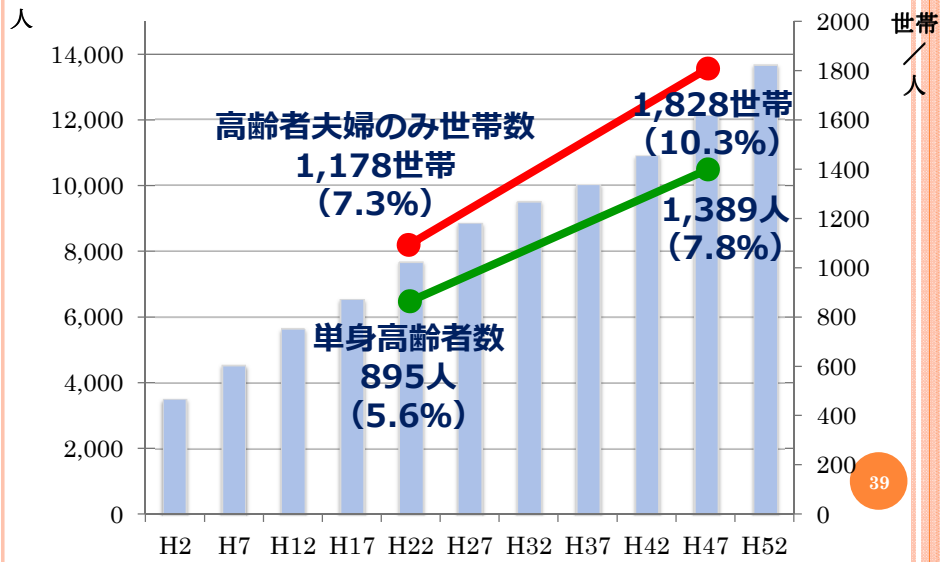


## 人口の推移・推計(高齢者数/後期高齢者数)



## 人口の推移・推計

(高齢者数／単身高齢者数・高齢者夫婦のみ世帯数)

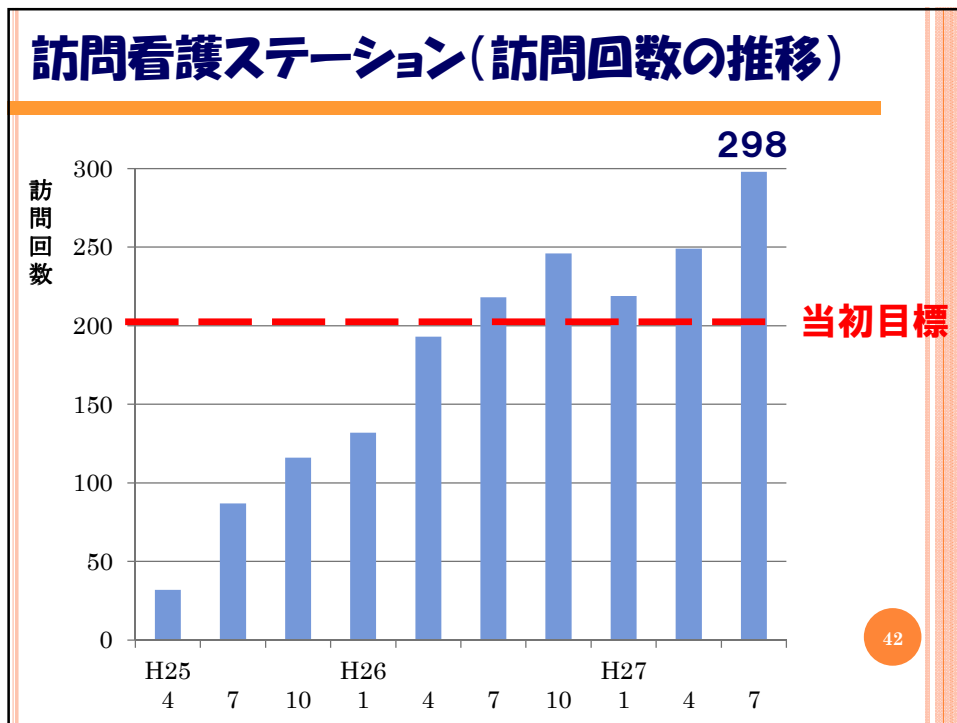
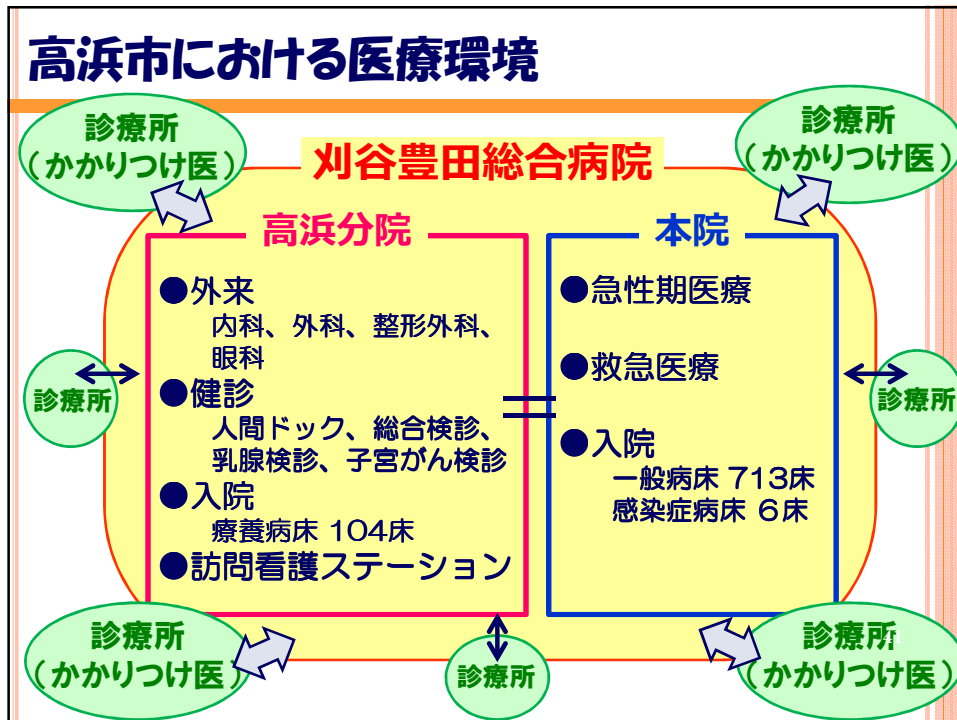


### 健康寿命の延伸



### 地域医療の充実





## 訪問看護ステーション

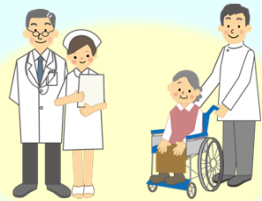
### 主なサービス内容



症状観察・健康管理



医師の指示の医療処置



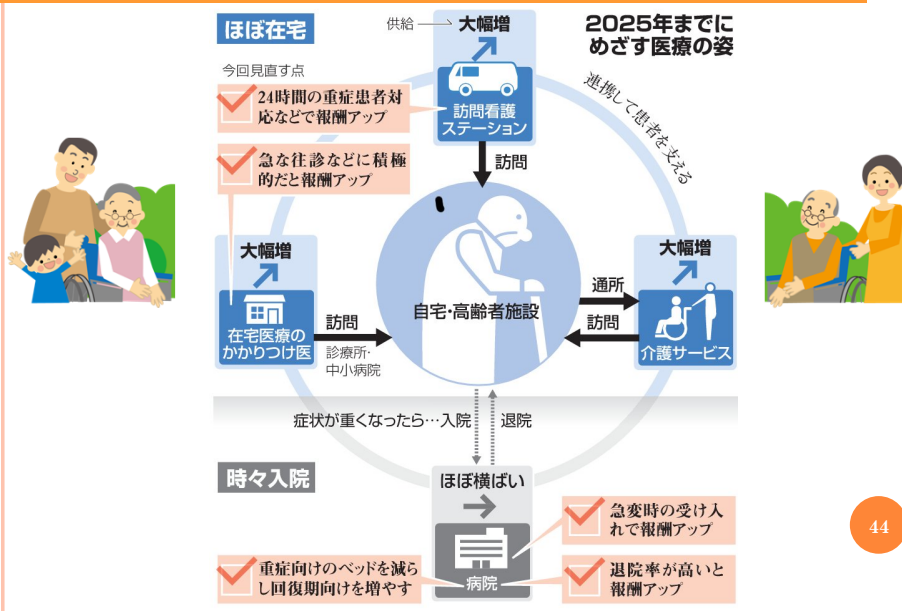
主治医との連絡調整

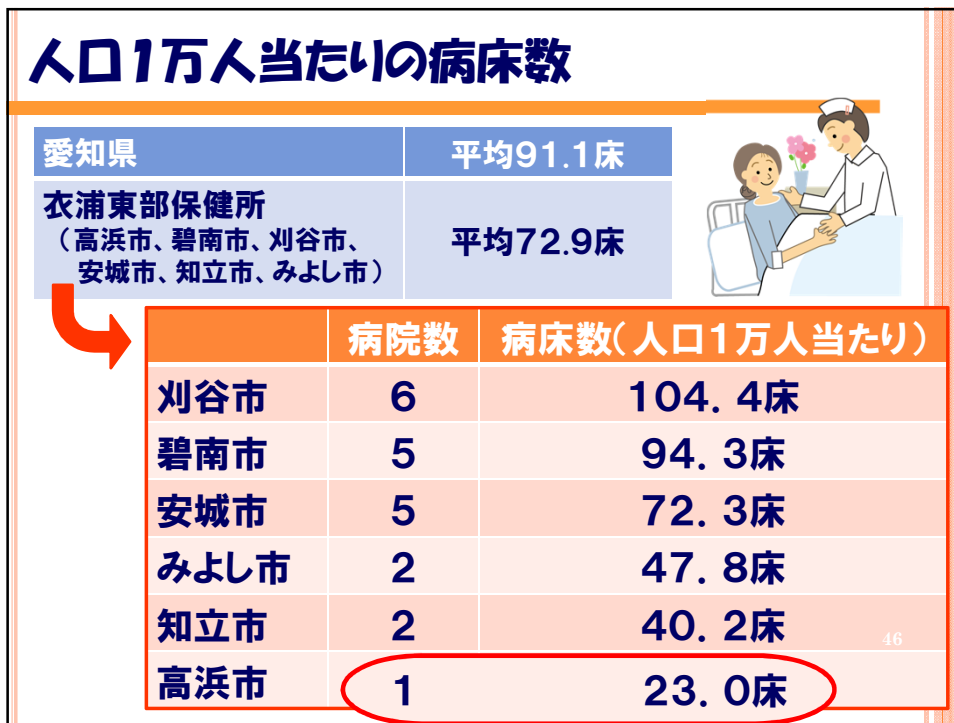


終末期のケア

43

## これからは「ときどき入院、ほぼ在宅」へ







### 刈谷豊田総合病院 高浜分院

- もともと「高浜市立病院」として、昭和60年2月に開院
- 医師不足の影響から、病院の存続が危ぶまれるようになり、平成21年4月に医療法人豊田会へ民間移譲
- 民営化後は、縮小された診療体制が徐々に復活  
104あるベッドは、4年前からほぼ満床

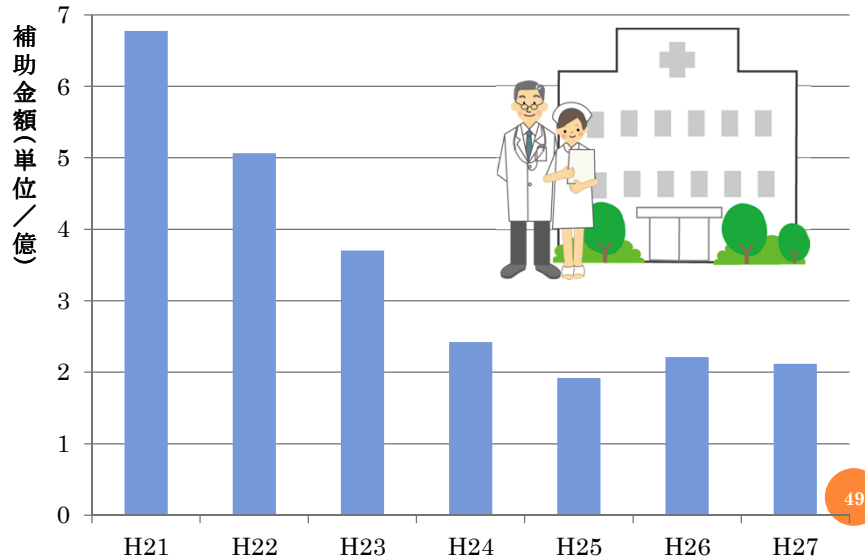


### 病院の移譲に関する協定書

- 豊田会と高浜市は協力して10年以上病院の運営に努める
- 病院の土地は無償貸与、建物は無償譲渡
- 病院を継続するため、高浜市からの財政支援
  - ①運営費補助金
    - ・病院を運営するために必要な経費
    - ・地域医療・救急医療を確保するための経費（刈谷市の30%）
  - ②施設整備費補助金
    - ・高度医療機器やシステム整備のための経費（3千万円を限度）
    - ・病院の建替えを含む施設改修経費（20億円を限度）
    - ・施設の緊急修繕が発生した場合の経費（その都度協議）



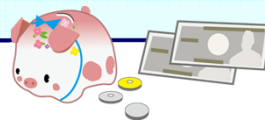
## 豊田会への財政支援の推移



○施設の老朽化(特に、電気、空調、給排水といった付帯設備)が深刻で、毎年**多額の修繕費**が発生



○現在の建物では、**病床を増やすスペースもなく、毎年2億円近い赤字**が発生

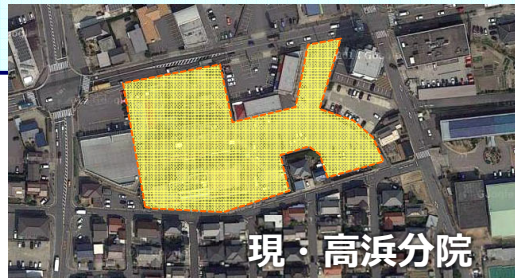


現在の敷地内での建替えを検討

50

○現在の敷地での建て替えを検討するも、  
**不整形地**であるため制約も多く、**入院患者を抱えたままの建替えは困難**

○移転候補地の中から、**市民の皆さんの利便性**などを考慮し、**中央公民館の跡地**を選択



## 新しい病院のあり方

～高浜市唯一の病院として、  
**機能の拡大と設備の充実を図ります～**  
(最短で平成30年4月オープン予定)

### 1 医療機能の充実

- ①専門外来の充実(腎臓内科など)
- ②人間ドック、総合検診の充実
- ③透析センターの新設
- ④回復期、慢性期病床の増床



## 2 地域包括ケアシステムへの貢献

- ①訪問看護ステーションの充実(機能強化型)
- ②居宅介護支援事業所の開設
- ③地域包括支援センターの運営(市の委託事業)
- ④災害時における医療救護所の後方支援
- ⑤定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実施



53

## 建物の概要

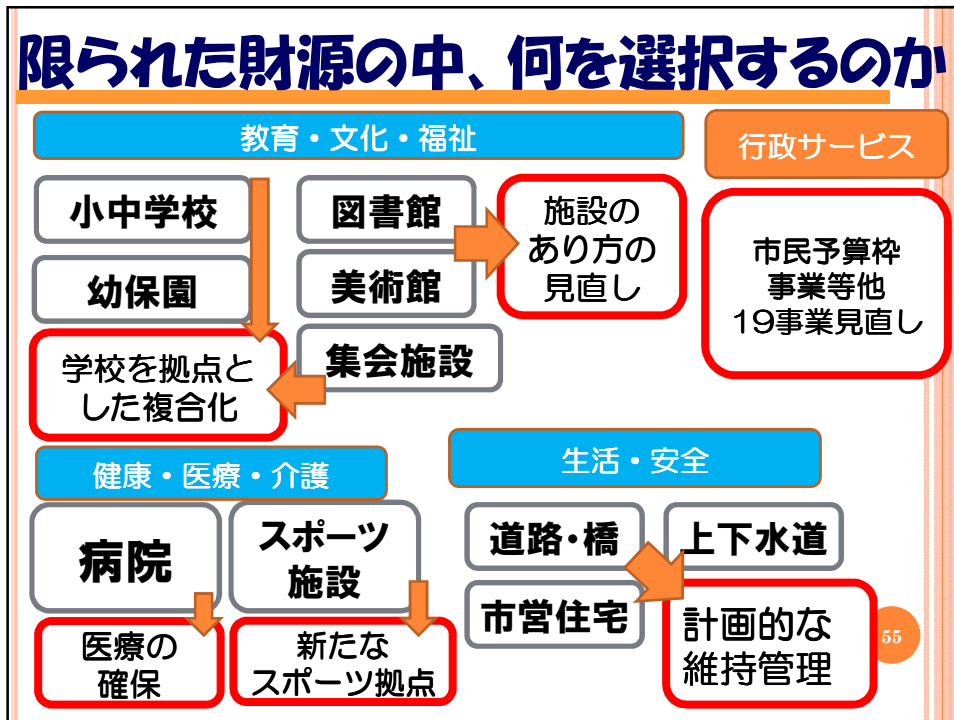
### 1 概要

	現 状	計 画
構造	鉄筋コンクリート造り 地下1階、地上5階	鉄筋コンクリート造り 地上6階
延床面積	8,640㎡	約15,000㎡

### 2 フロア構成

6階	病棟
5階	病棟
4階	病棟
3階	病棟
2階	透析センター、健診センター、リハビリ
1階	外来、訪問看護・地域包括

54



## おわりに

- 公共施設のあり方を考える取組みは、新しいものをつくる経験はあっても、「減らす」という今まで経験したことがない取組みです。
- 限られた財源の中、何を優先して、集中的に財源を投入するかを選択します。

↓

将来の高浜市が  
持続可能で自立した自治体であるように  
最重点課題として取り組んでまいります

## 皆さまのご理解ご協力をお願いします

- 公共施設のあり方の取組みについては、市民の皆さまも、市の公共施設が抱えている課題を認識していただき、ともに知恵と工夫を出し合って、この難題を乗り越えたいと考えています。

**高浜市の次世代につなぐために！  
新たな挑戦のはじまり！**